

II 新たな不祥事について

会計管理者兼会計課長が、支出命令書等の審査を行う中で、大量に持ち込まれる公共料金等の額が確定している納付書について、会計課審査担当係長の審査が終了した時点で、(決済権限のない)会計課職員にパスワードを知らせ、決裁を行わせていたことが議員への通報で発覚しました。この件は所属する総務常任委員会において報告を受けました。

鎌倉市会計管理者の事務決裁等に関する規程第3条及び鎌倉市情報セキュリティポリシー第2章5人的セキュリティー(4)ID及びパスワード等の管理に違反している行為でありますので、ただちに会計課長のパスワードを変更させ、取り扱いを中止させた、詳細については調査中ということです。

私は、近年の不祥事の多発において発覚し、その事案についての対処ではなく、全体に目を向け根本的な体質改善をお願いし、またコンプライアンス担当まで設置し、府内全体で取り組んでいる最中であるにも関わらず、内部での発見や、報告ではなく議員に通報という形で問題が発覚したことへの危機感をもつと持つべきであると発言しました。

腹を出し切る、簡単ではありません。しかし、松尾市長の下、鎌倉市役所改革を進めていただきたいと願います。そして、協力できることは協力していきます。

II 永田まりなプロフィール

1983年2月19日生まれ・34歳・A B・七里ガ浜在住
聖路加幼稚園～七里ヶ浜小学校～北鎌倉女子学園中学校～鎌倉高等学校
～フェリス女学院大学卒業

2004年度ミス鎌倉、鎌倉ケーブルテレビリポーターを経て
大学卒業後はフリーアナウンサーとして活動

2013年市政へ挑戦、4月鎌倉市議選初当選。メディアでの経験を生かし
YouTubeで市政報告情報発信チャンネル「鎌夢会チャンネル」開局
女性の様々な生き方の選択肢を増やしていきたいとの思いから
様々な角度から議会にて質問、政策提案！

2014年より、若い世代にも政治を身近に感じてもらうべく、夏(8~9月)と春(2~3月)
に、大学生インターンの受け入れを実施。これまでに計8人が活躍。現在も継続中！
2017年2期目に再選。総務常任委員会担当。

ご意見・コンタクトはこちら SNSでも情報発信中！



鎌倉市議会議員 永田まりな 公式サイト
www.nagata-marina.com



nagatamarina.kamakura



@nagamari0219

〒248-0025 神奈川県鎌倉市七里ガ浜東5-1-12

TEL・FAX : 0467-31-1746 nagatamarina2013@gmail.com

鎌倉市議会議員・無所属(34歳)

永田まりな

MARINA NAGATA



VOL.35

鎌倉人
KAMAKURAJIN

全力投球！鎌倉！！

大好きな鎌倉が、もっと輝くために。

II 6月議会一般質問報告

6月14日より30日まで今期最初の定例会である6月議会が開かれました。

6月議会は決算や予算の審査ではなく、一般質問と各常任委員会が行われます。

私の一般質問のテーマは①鎌倉の働く環境について②安心安全な地域づくりについて、前期から引き継ぐテーマでもある以上の2点です。

まず①鎌倉の働く環境についての冒頭、鎌倉市がまち・ひと・しごと地方創生総合戦略、そして第3次鎌倉市総合計画第3期基本計画後期実施計画においても重点事業として掲げる「働くまち」とはどのようなイメージなのか確認しました。

答弁：職住近接を実現し、鎌倉らしいライフスタイル、ワークスタイルを確立していきたい。

私は税収増の面から考えた従来の企業誘致と市民が市内で働くチャンスを拡げるためには市内で働きたいと考える層がどこなのかを調査し、その層に適した施策を打つべきと考えてきました。その中で今現在、市内で働きたいと考えているのは「子育て中の女性」「子育てがひと段落しセカンドキャリアを希望している女性」に多くいらっしゃることが見えてきました。通勤距離、キャリアの取り戻し、時間の制約、保育園の待機児童問題…多くの課題を抱えながら、働くことはできない、もしくは働くなら働きたいと考える層を後押しをすることは、鎌倉にとっても大きな力の掘り起こしであり、生き方の選択肢を増やしていくことを目標活動している私にとってはライフワークとして取り組んでいく課題です。市からの答弁はその課題にコミットしていくことに対する希望が見えるものでした。新しい働き方を模索しなければ上記の層が働くということに繋がっていないからです。このテーマで質問すると必ず言われるのが…「女性だけに向けたことなんですよ」という言葉。それは違います！現実問題として、働く、ということに多くの課題を抱えているのが上記の層である、というだけで、その課題をクリアしていくことはすなわち、全方向に向けた働き方改革になると考えています。

今回の質問の中からは、今年度から始まった協働事業である子育て世代の女性をターゲットにした就労セミナーの取り組みの状況、課題、市としての今後の思いなどを中心に質問しました。第一回目の参加者は8名と、昨年度市が独自に開催していた女性に向けた就労セミナーの最後の参加人数と変化がないことが残念でしたが、昨年度私が提案した、幼稚園など、ターゲット層の集まる場所での周知を実施することで参加者の半数近くが幼稚園でチラシを見たことがきっかけだったことも分かり、今後の周知場所拡大に向けて前向きな答弁をいただきました。市の持つ強みと民間の持つ強みを生かしあって2回目以降に繋ぎ、実際の就労に繋いでいきたい、とのことです。また、その際には市内事業者に向けたアンケートなども実施し、市内事業者の抱える課題なども抽出し、具体的なマッチングに繋げていきたいと答弁いただきました。

最後に、鎌倉市は多くの市民の方が市外に働きに出ています。この働くまち鎌倉が、市外で働く市民を置いてきぼりにするものにならないよう、市外で働いている市民に向けての取り組みも考えてもらいたい旨お願いしました。

従来の働き方から鎌倉市民のライフスタイルに寄り添ったワークスタイルを確立し、働くまちへ、これからも研究、提言を続けていきます。

次は②安心安全な地域づくりについてです。

まず、地域住民にとっての懸案事項である鎌倉高校前の観光客対策について質問しました。近隣住民の皆さんと市と対策に取り組んできましたが、このGWより土・日曜の警備員の常駐が始まりました。この費用は江ノ電と市が1/2ずつ負担する、という市内で初めての取り組みとなりました。今後もこの成果を見ながら、市内の混雑、危険箇所への警備員配置も考えていただきたいところですが、鎌倉高校前のように江ノ電と費用が折半できない場合の費用負担は非常に大きいとの答弁もあり、警備員配置という対処療法だけでなく混雑に対する抜本的取り組みを進めていただきたいとお願いしました。

最後にこのところ市内で頻発している「空き家の空き巣被害」について質問しました。市民安全課ではこの事実を認識していたものの、空き家を所管するまちづくり景観部ではこの事実を認識していませんでした。と、いうのも空き家と定義されるのは「概ね1年を通じて居住されていないものや使用されていないもの」とされており、近年の高齢化に伴い施設入居や入院、または諸事情により一時的(とは言え、居住されなくなり期間的にはかなり長く近隣からは空き家と認識されている)に家を空けている物件が多く狙われていたので、市としては空き家としては認知していなかったのです。また、空き家の正確な把握も中々進んでいないのが現状ですが、実際被害も出ており、近隣では火災などの二次被害も懸念されていることから今後は、空き家防止啓発などの取り組みにおいても空き巣被害の警告を通じ周知をしていく、と答弁いただきました。また、パトロールの強化など地域、警察との連携も強め、防犯に努めていかれるとも答弁いただきました。



任期最初の一般質問ということもあり前期から取り組んでいる課題を中心に質問しましたが、少しずつ、でも着実に進んでいる感じができます。

今期も情報収集・政策研究・議会での提言・情報発信をセットで取り組んでいきますのでどうぞ宜しくお願いします。